

2019/09/07 1-4 10:30-10:55

障害学会第16回大会

立命館大学朱雀キャンパス

中東における「障害と開発」 (序論-イスラームにおける障害とは何か)

日本貿易振興機構アジア経済研究所

主任調査研究員

森 壮也

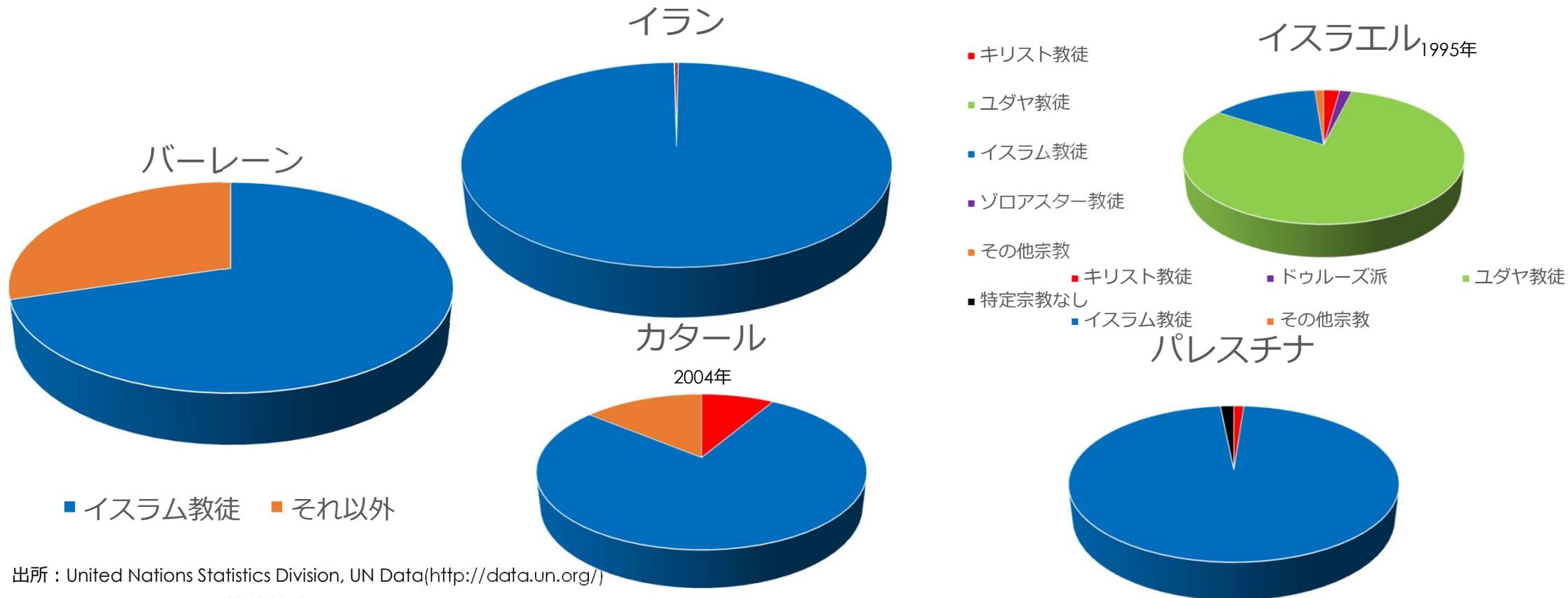
報告の構成

1. 中東地域とイスラム教
2. 中東各国の障害者数統計
3. イスラム教（イスラーム）
4. 中東における障害(者)
5. イスラームにおける障害者の権利
6. イスラーム以外の中東を彩るものと障害
7. おわりに－残された課題

中東地域とイスラム教

中東各国の多くでイスラム教徒がマジョリティ

- イスラム教徒は世界で16億人とされている（キリスト教徒は30億弱）



イスラム教徒比率
 バーレーン：70.22%
 イラン：99.59%
 イスラエル：14.52%
 カタール：77.47%
 パレスチナ：97.24%

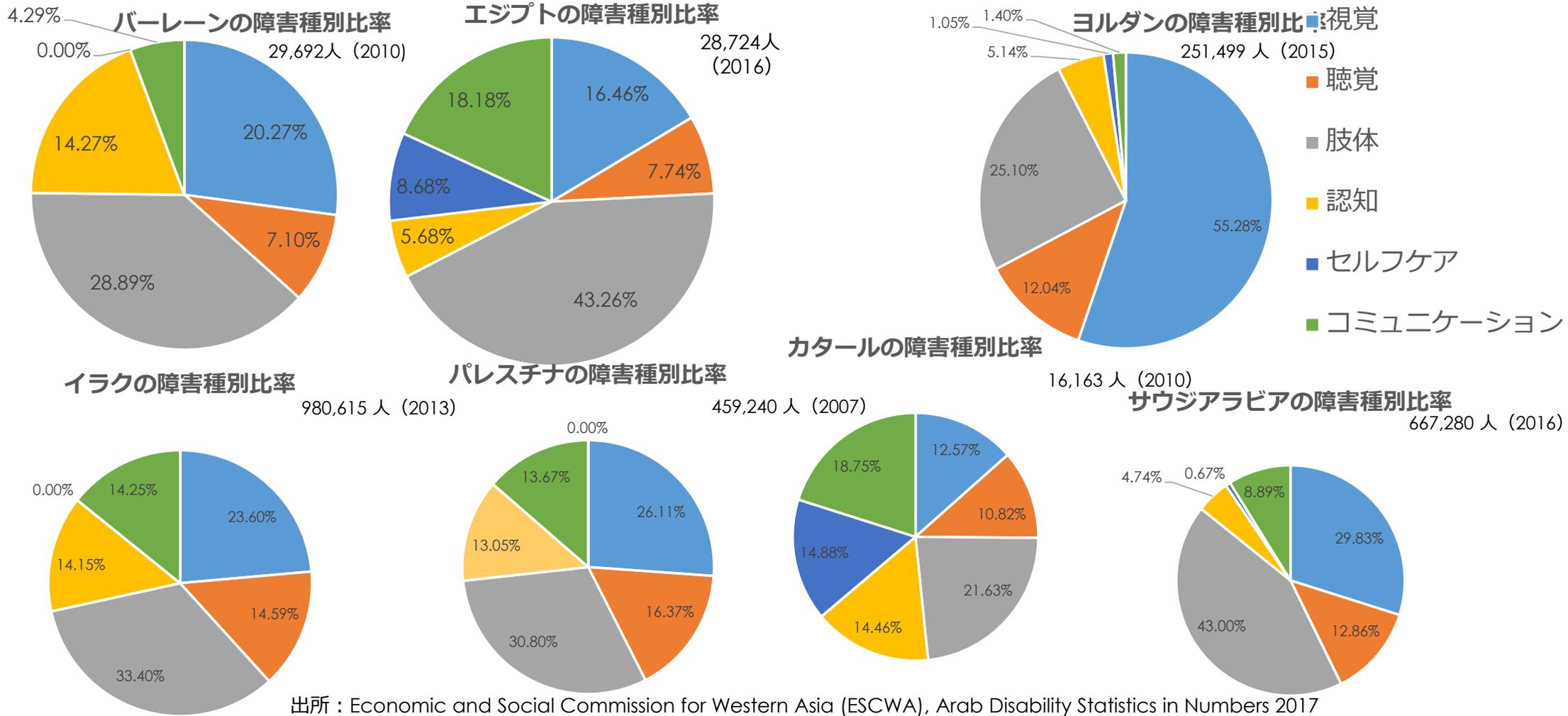
■ キリスト教徒 ■ イスラム教徒 ■ その他宗教

■ キリスト教徒 ■ イスラム教徒 ■ その他宗教 ■ 特定宗教なし

出所：United Nations Statistics Division, UN Data(<http://data.un.org/>)

中東各国の障害者数統計

中東各国の障害者数統計



国連に各国が報告した数字で見ても、ヨルダンで異様に肢体不自由が55.28%と多くなっているが、それ以外も肢体不自由12%強から30%弱までとかなりバラツキがあり、他の障害も皆、比率にかなりバラツキがあることから、政府ごとの障害の定義と障害者の捕捉率の双方の点で問題があると想像される。

中東における「障害と開発」
を考える際には

イスラームにおける「障害」とは何か
という問いに答えることは不可避

イスラム教（イスラーム）

イスラーム

(Hasnain 2008)

• イスラーム

- 紀元610年頃にムハンマドへのアッラーからの啓示
- この啓示が直接に書かれているのがクルアーン（日本ではコーランとも）
- ハーディス = 予言者ムハンマドの発言や行動を集めたもの も信仰の根源
- アッラー = 唯一神信仰、イスラム教やユダヤ教の預言者たちも崇敬
- 大きく分けて、スンニ派とシーア派
 - 初期に預言者ムハンマドの親友のアブー・バクルを後継者として受け入れた多数派がスンニ派
 - ムハンマドのイ従兄弟のアリーを後継者とするのがシーア派
 - スンニ派の割合：クウェート（70%）、イラク（45%-60%）、イラン(10%)、バーレーン(30%)

中東における障害(者)

中東における障害(者) 1

- Philohuman, 2013
 - 障害者のために使われる予算の殆どは、大衆から障害者を隔離している障害者施設への支出
 - 大学を出ても職場はコール・センターのようなところしかない
 - 障害者が街でひとりで出歩いていると、それは家族が彼をネグレクトしているからだとみなされる
- Rispler-Chaim 2007
 - 初期のアラビア語では個々の障害を表す語はあったが、それらを統合した概念の語や障害全般を指す語がない
 - クルアーンで用いられているmaridとmarad（病気を指す言い方で障害についてもぼかす言い方として使用）
- トルコ語における障害を意味する3つのことば (Ilgit 2017)
 - ① Engelli
 - ② Sakat
 - ③ Özürlü
 - トルコ語には、障害者を意味する一意対応する語はなく、上の3つが一般には同じ意味で用いられている（専門領域では区別がある）
 - ①は、障壁という意味も
 - ②は、病人、不完全な身体という意味も
 - ③は、体機能が不全という意味も

中東における障害(者) 2

- イスラームの障害に対する見方の研究書として代表的な二冊
 - Mohammed Ghaly, *Islam and Disability: Perspectives in Theology and Jurisprudence*. ~神学と法
 - Vardit Rispler-Chaim, *Disability in Islamic Law*. ~法律文献
- クルアーンには、盲、ろう、足なえ、おし、薄弱者といったことばが登場し、それぞれ隠喩的な意味も
- イスラームの5行 (①信仰告白 (シャハーダ) ②礼拝 (サラア) ③喜捨 (ザカート) ④断食 (サウム) ⑤巡礼 (ハッジ))
- クルアーンに登場する障害
 - 「信仰を拒む者たちを警えるならば、何と呼びかけられても、呼び声と叫び声の外聞けない者のようで、聾者、盲人である。従ってかれらは理解することが出来ない」 (雌牛章、一七〇節・三田訳) (ハガグ 2015) (Hasnain et al., 2008)
 - 「障害」の対語としての「完全」~そもそも人間は生物学的に限界を持つ存在で、完全に完璧 (アッラーのみが可能) ではられないし、すべての人間がただひとつの同じタイプをもつような形で完全にいるという方向性を考えるのは馬鹿げている (Muhammade Assad 1982)
 - すべての人は価値ある創造物でアッラーが創造した以上のものになろうと望む (クルアーン、95:4)
 - 「盲人でも遠慮は要らない。また足の身障者でも遠慮は要らない。また病人でも遠慮は要らない。」 (クルアーン、24:61)
 - 「ただし、盲人は (出征しなくても) 罪はなく、足の障害者や病人にも罪はない。」 (クルアーン、48:17)

中東における障害(者) 3

- クルアーンにおける障害の主要原因 (Ilgit 2017, 129-130)
 1. ネグレクトまたは欠陥 (64:11、21:35、2:155-156)
 2. 神の意志と信仰の試練(3:145、63:11、57:22)
- ムハンマドの言行録としての『ハディース』における障害者の位置づけ
 - 金曜礼拝（コーラン第62章『合同礼拝の章』）の免除を乞う問いかけに対し、ムハンマドは盲人も礼拝に出るべき = 社会参加すべきと回答
- 人間の価値をイスラームでは、身体的、肉体的な特徴だけでなく、信心深さにも置く⇒ムハンマドは障害者も祈れるよう特別な支援 (Bazna & Hatab, 2005)～イスラーム的インクルージョン（但し、現実的には、宗教リーダーや信徒コミュニティがそれを意識する必要）（Hasnain 2008）

イスラームのリーダー達が語る障害

Timea (2018)

- Umar Ibn Al-Khattab (ウマル・イブン・ハッターブ、第2代正当カリフ、592年? - 644年)
 - ある父親が第2代カリフのところに来て、盲の息子について次のように不平を言った。彼は障害があるために集会に出て祈りを捧げるためにモスクに行けないと。するとウマルは、彼にモスクのそばの家を与えてやった。
- `Umar ibn `Abdul-`Aziz (ウマル・イブン=アブドゥルアズィーズ、上の曾孫、682年 - 720年)
 - ウマイヤ朝の著名なカリフが地域の首長達に盲、肢体不自由、慢性病といった祈りを成り立たせることを妨げる要因のある人たち全員の名前を知らせるように依頼した。これらの人たちの名前をカリフに知らせると、カリフはすべての盲人は案内と面倒を見てもらう雇い人がいるように、また慢性病の人たち、つまり特別なニーズのある人たちのふたりにひとりには、彼らに使え、世話をする召使いがいるようにせよと命令した。”
- Al-Waleed ibna `Abdul-Malik (ワリード1世、ウマイヤ朝の第6代カリフ、674年 - 715年)
 - 別の: ウマイヤ朝のカリフには、他にも、障害者の面倒を見ることに特化した基金の設立を命じたカリフがいた。彼は、特別なニーズのある人たちに定期的な手当を与え、彼らに「物乞いはしないように」と語った。それゆえ、このカリフは彼らが他人に物乞いをしなくて済むに足るようにしていた。さらに加えて、このカリフは、雇われ人たちを、障害者や肢体不自由者、盲人といった人たち全員の世話をするよう任命した。

イスラームにおける障害者 5

Al-Aoufi, et al. (2012)

- イスラームでは、障害があるということは、人間なら当然ありうることであり、自然な性質の一部
- イスラームは、障害者の世話のための原理と実践の提供の源であると同時にそうしたケアの重要性も説いている
- イスラームのリーダーたちの示した障害者への態度（前スライド）
- スンナに見る個人に対する社会的責任（ハディースによる）
 - 「相互の愛、好意、感情に関して信者の似姿としては、信者の全身体の似姿がある。どんな手足でもそれらが痛む時には、全身が痛むものだが、それは不眠と熱のせいである。」 (Sahih Muslim, 32,:6258)
 - 「若輩者に対して慈悲深くなく、年長者に対して尊敬の念を持たないような人は人ではない。」 (Sunan al Tirmidhi)
 - 協力、連帯、同情、尊敬といったものはイスラームの基本やマナーの一部

イスラームにおける 障害者の権利

イスラームにおける障害者の権利 1

Al-Aoufi, et al. (2012)

• 障害者の権利

- 「アッラーから保管を委託された財産を、『頭の弱い人』に渡してはならない。そして、かれらに衣食を与え、懇切に言葉優しく話しかけなさい。」(クルアーン、4:5)
 - この『頭の弱い人』に含まれるのは、幼い子供と知的障害者、精神障害者等「結婚年齢に達するまでは、孤児を試みなさい。もし、立派な分別があると認められたならば、その財産をかれらに渡しなさい。かれら（孤児）が成年になるまで、浪費したり、急いで消費してはならない。（後見者が）金持ならば抑制してこれに手を触れてはならない。また貧乏ならば、（後見のために）適切に使いなさい。孤児に返還するさいは、かれらのために証人を立てなさい。アッラーは清算者として万全であられる。」(クルアーン、4:6)
 - ここで言う『貢献者』は、脆弱な人たちの保護者全般にも適用
 - この『貢献者』は、責務、公正さ、思いやりに従う必要で、相手が自己決定できるようになったらその役割を終える
- 「かれらは女のことで、あなたに訓示を求める。言ってやるがいい。「アッラーは、かの女らに関しあなたがたに告げられる。また啓典の中でも、あなたがたが、所定のものを与えず、娶ろうと欲する女の孤児に関し、また哀れな子供らに関し、更にあなたがたが孤児を公正に待遇しなければならぬことに関し、あなたに読誦されたこと（を思え）。あなたがたが行うどんな善いことも、アッラーは深くそれを知っておられる。」(クルアーン、4:127)
 - アッラーから、すべてのアッラーに発する富は、個々の成員だけでなく、コミュニティの維持のためのものでもあるとの指示あり

イスラームにおける障害者の権利 2

Al-Aoufi, et al. (2012)

- クルアーンに見る脆弱な人たちの人権
 - 「信仰する者よ、或る者たちに外の者たちを嘲笑させてはならない。それら（嘲笑された方）がかれらよりも優れているかも知れない。女たちにも外の女たちを（嘲笑させては）ならない。その女たちがかの女たちよりも、優れているかも知れない。そして互いに中傷してはならない。また綽名で、罵り合ってはならない。」(クルアーン、49:11)
 - 相手への敬意というような基本的な人権は、障害者を相手にする場合でも非障害者を相手にする場合でも当てはまる
 - 「盲人でも遠慮は要らない。また足の身障者でも遠慮は要らない。また病人でも遠慮は要らない。またあなたがた自身も、自分の家で食べても良く、父方の家でも母方の家でも、兄弟の家でも、姉妹の家でも、父方のおじの家で...食べて良い。」(クルアーン、24:61)
 - 恵まれない人への支援のあり方

イスラームにおける障害者の権利 3

Al-Aoufi, et al. (2012)

- イスラームにおける社会権

- 障害者がZakat（喜捨）を受け取るのは正当、またZakatを行うのはムスリムの社会正義の一形態（Miles 1995）
- 障害者のニーズ = 悲哀の心 + 神からの好意を求めるそぶり によって解決される(Hassan 1992)⇒パターンリスティックな見方と批判 (Oliver & Barnes 1998)



- しかし、多くのイスラーム諸国では、これは社会的責任感に繋がるものだから適切。日常的に手が差し伸べられている状況 = 障害者への社会的責任を果たしている(Hagrass 2006)

イスラームにおける障害者の権利 4

Al-Aoufi, et al. (2012)

- イスラームにおける結婚(Yaqut 2007)
 - エジプトのAl Azhar大学の下で知的障害協会 (Mental Retarded Society) が開催した第1回会議 (2002) で、軽度の知的障害者の結婚は、セックスは生得的なもので、それは満たされるべきだというイスラームの教えから、認められるべきだとの議論
 - さらに結婚は、性行為以上の人としてなすべき責任ある行為として認められるべきだとする学者の議論も
- 障害と補償(E-Da`wah Committee 2015)
 - 補償 = 癒やし及び代替する機能
 - 「現世において善行をなす者には、善い (報酬) がある。」(クルアーン、39:10)⇒障害があるとそれを補償するような体機能があるが、それはアッラーが与えたもの。
 - 「あなたがたの与えられるどんな恩恵もアッラーからである。なおまた災難に会う時は、あなたがたは只かれに御助けを懇願する。」(クルアーン、16:53) ⇒この世界で起きたことは良いことも悪いことも皆、アッラーの恵み
 - 「地上において起こる災厄も、またあなたがたの身の上を下るものも、一つとしてわれがそれを授ける前に、書冊の中に記されていないものはない。それはアッラーにおいては、容易な業である。それはあなたがたが失ったために悲しまず、与えられたために、慢心しないためである。本当にアッラーは、自惚れの強い高慢な者を御好みになられない。」(クルアーン、57:22-23)⇒状況を改善できるのもすべてアッラーのみ
 - 「虚弱な者、病んでいる者、と (道のために) 供出するもののない者は、アッラーとその使徒に対して忠誠である限り罪はない。善い行いをする者に対しては (非難される) 筋はない。アッラーは寛容にして慈悲深くあられる。」(クルアーン、9:91)⇒補償はアッラーへの忠誠が条件

イスラームにおける障害者 5

Al-Aoufi, et al. (2012)

- イスラームにおけるインクルージョン(Yaqut 2007)
 - スンニ派の六大真正ハディース集成書（六書）の中のSahih al-Bukhari and Sahih Muslimの中に出てくる盲人Etban ibnMalikの家をムハンマドが求めに応じて訪ねる話⇒障害があるために孤立させられることはない + 悲観する必要もない⇒訪問も受けるし、結婚もできる
- イスラームにおける治療やリハビリテーション(Yaqut 2007)
 - イスラームではリハビリテーションの形態は2種類 – 予防と治療
 - 予防 = 医療や生活習慣の変更（飲酒やタバコの禁止）
 - 治療 = 医療、リハビリ、精神的治療等様々な形態
- イスラームにおける教育権(Yaqut 2007)
 - 恵まれない人たちは教育を受ける権利を持ち、彼らの能力が過小評価されるべきではないとされている
 - 「（ムハンマドは）眉をひそめ、顔を背けた。一人の盲人がやって来（て話が中断され）たためである。あなたにどうして分ろうか、かれは清められるかも知れないことが。」(80:1-3)
 - 「教育」 = イスラームの教えを受けること
 - ①すべての人は等しく扱われる権利を持つ②障害があっても教育を受ける権利を持つ③障害故に過小評価されてはならない④個々人は社会に包摂される権利を持ち、その中で意味のある役立つ役割を有する⑤障害者も教育のための適切なリソースを見つかけられるようにする義務を社会は有する

イスラーム以外の 中東を彩るものと障害

中東の多様性

Al-Aoufi, et al. (2012)

- 障害の文化としての概念化
 - 宗教以外の地域伝統からの影響
 - 例：サウジアラビアやヨルダンにとってのアラブの伝統
 - サウジアラビアの法や諸規則は、イスラム法（Shariah = コーランとスンナ）がベース⇒サウジアラビアの特別支援教育政策(MoE 2001)もイスラム法がベース
 - 政府はすべての人に教育を提供する義務
 - ヨルダンでは、アラブ・ナショナリズム、イスラーム保守主義、部族主義、西欧モダニズムが入り交じった形で影響(Moaddel 2002)
 - ヨルダンの障害児教育は同国の多様性を反映して2つの部分に分かれる
 - イスラーム要素がない部分（従って、専門家によってではなく、自発的に実施）：障害者法(1993、改正2007)に基づいて障害者は平等に扱われ、残された能力をできるだけ使う
 - イスラーム的部分：識字がない、あるいは低い人たちによっても実践される庶民的なイスラム方式だが、宗教的というよりも地域文化の影響強

おわりにー残された課題

- イスラームにおける「障害」とは何か
 - a. イスラーム自体では、障害については、人間はそもそも不完全として認容
 - b. 障害者のためのケアや義務の免除などについても明示
 - c. 障害者の権利や彼らに対する社会の責任についても明示
 - d. 障害の社会モデルを理解するための基盤はある
- 残された課題
 - イスラーム自身の中にも宗派があり、中東における障害を考えるためには、イスラーム以外の地域多様性も要考慮
 - イスラム法と中東における障害者に関わる実態との差
 - 女性への制約と障害女性への制約との比較と相互関連

主要参考文献

- Al-Aoufi, H., et al. (2012) . "Islam and the cultural conceptualisation of disability." *International Journal of Adolescence and Youth* 17(4): 205-219.
- Bazna, M. S., & Hatab, T. A. (2005). Disability in the Qur'an: The Islamic alternative to defining, viewing, and relating to disability. *Journal of Religion, Disability & Health*, 9(1), 5-27.
- Belgin Tezcan Aksu, Recep Toparlı, Şükrü Haluk Akalın. (2008) *Pictorial School Dictionary (Resimli Okul Sözlüğü)*, TDK.
- Crock, M., Smith-Khan, L. McCallum, R. and Saul, B., (2017) *The Legal Protection of Refugees with Disabilities – Forgotten and Invisibl?*, Northhampton, Massachusetts: Edward Elgar Publishing Ltd.
- Hasnain, R. et al. 2008, *Disability and the Muslim Perspective: An Introduction for Rehabilitation and Health Care Providers*, Center for International Rehabilitation Research Information and Exchange (CIRRIE)
- Kazemi, S. (2017) *A Step toward a Conceptualization of Transnational Disability Model: Engaging the Dialectics of Geopolitics, "Third World," and Imperialism*, presentation at "Third World," and Imperialism" in the Disability Consciousness, Imaginaries, and Struggles: Transnational Narratives of Becoming and Remaining Disabled panel at the National Women's Studies Association Conference in Atlanta, Georgia, Nov 10, 2018. (<https://cdd.journals.yorku.ca/index.php/cdd/article/download/39729/35971>, Downloaded on 2019/06/11)
- Miles, C. (2007). *Imran's Djinn, and theories of epilepsy*. Retrieved December 9, 2007, from www.independentliving.org/docs7/miles-christine2000.html (Original work published 2000)
- Miles, M. (1995). Disability in eastern religious context: Historical perspective. *Disability and Society*, 10(1), 49–69.
- _____ (2011) THE 'SOCIAL MODEL OF DISABILITY' MET A NARRATIVE OF (IN) CREDULITY: A REVIEW, *Disability, CBR and Inclusive Development*, Vol 22, No.1,
- Ministry of Education (MoE). (2001). Regulations of the institutes and special education programs. Retrieved July 1, 2011, from http://www.se.gov.sa/rules/se_rules/index.htm
- Moaddel, M. (2002). Religion and the state: The singularity of the Jordanian religious experience. *International Journal of Politics, Culture and Society*, 15(4), 527 – 568.
- Muhammed Assad (1982). *Islam at the Crossroads*, Gibraltar: Dar al-Andalus.
- Muslim Youth Net. (n.d.). What does Islam say about disability? Retrieved June 28, 2006, from www.muslimyouth.net/campaign.php?a_id=474&id_fk=17&id_fkis=59&id_fkt=197. NAAA-ADC action alert: Support Cultural
- Philohuman, Attitudes to Disability: Islam, *the West and the Middle East*, January 3, 2013, <https://philohuman.wordpress.com/2013/01/03/attitudes-to-disability-islam-the-west-and-the-middle-east/> (Downloaded on 2019/06/11)
- Philohuman, 2013, Attitudes to Disability: Islam, *the West and the Middle East*, <https://philohuman.wordpress.com/2013/01/03/attitudes-to-disability-islam-the-west-and-the-middle-east/> (Downloaded on 2019/06/11)
- E-Da`wah Committee (2015), *Qur'an and People with Disabilities*, E-Da`wah Committee (<https://www.muslim-library.com/dl/books/English-Quran-and-People-with-Disabilities.pdf>, (Downloaded on 2019/08/21)
- TDK (Turkish Language Institution, *Türkçe Kurumu*). (1932) *Turkish Dictionary (Türkçe Sözlük)*.
- Timea, Aya (2018) How Should Muslims Look at Disability?, (<https://aboutislam.net/family-life/your-society/muslims-look-disability/>, Downloaded on 2019/08/21)
- Yaqut, Muhammad Mus`ad (2007) *Caring for People with Special Needs in Islam*, (<https://theislamicworkplace.com/2007/06/14/caring-for-people-with-special-needs-in-islam/b/>, Downloaded on 2019/08/21))
- イスラムのホームページ、『聖クルアーン 日亜対訳』 (<http://www2.dokidoki.ne.jp/islam/quran/quran000.htm>)
- ハガグ, ラナ (Haggag Rana). 2015. 『声の文化と翻訳理論 : テキストとしてのクルアーンとその翻訳をめぐる』 一橋大学博士學位請求論文, <https://japanlinkcenter.org/jalc/linkSakiAnnaiOto/mRRidirect/index?doi=10.15057/27212> (Downloaded on 2019/06/11)